

越境汚染や黄砂の動態と自然環境への影響解明



環境工学講座
教授 渡辺 幸一

研究分野

大気物理化学、雪氷化学、環境科学

研究内容

近年、北陸地方へ多量の越境汚染物質や黄砂粒子が輸送され、自然環境への影響が懸念されています。これらの大陸起源物質の影響を評価するため、山岳域などにおいて、大気を中心とした観測的研究を行っています。

私の研究のポイント

立山や能登半島などにおいて、大気汚染物質・微粒子の観測、霧水・降水の採取・化学分析、積雪・渓流水の観測などを進めています。また、ヘリコプターなどを利用した上空の大気観測研究の実施や、越境汚染物質や黄砂粒子による植生影響についても検討を行っています。さらに、国内有数の山岳観測拠点として、立山を世界にアピールしています。

REPORT リポート

